Doc.No.	AUT 028U-05

yamada

取扱説明書

デジタルエアインフレータ

型式 DAT-810 スタンド形　　製品番号 881019
型式 DAT-811 壁取付形　　製品番号 881020

⚠ 警告

安全のため、本製品のご使用の前には必ずこの取扱説明書をよく熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。 また、本取扱説明書をいつでも使用できるように大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

はじめに

本書は、お使いになる本機が、故障なく充分に皆様のお役に立つことを念願して、正しい使用方法と使用上の注意について説明したものです。
この説明書を読む前に本機の取扱い操作は行わないでください。
特に、注意事項について熟読されるとともに、本書を常に手元に置いてご活用ください。
尚、ご使用中にご不明の点・不具合がございましたら、お買い上げの販売店又は裏面記載の弊社営業所までご連絡ください。

＊ 取扱説明書、注意ラベル等を汚損・紛失した場合には、速やかにお買い上げの販売会社からご購入いただき保管・貼付してください。

目　次

1. 使用目的

本機は、軽自動車・普通乗用車及び２トントラックなどのタイヤ用のデジタル式エアインフレーターです。
壁取付形・スタンド形の２機種とも、2×3cmの液晶デジタル表示は、視認しやすく希望の充填圧力にセットした後、ホース端のタイヤチャックをタイヤにセットすると、自動的にタイヤの残存する内圧を感知表示し、セット圧まで充填を行なうことができます。

- デジタル式エアインフレーターは、耐防爆ではありませんので防爆要求エリアに設置することはできません。
- 屋内・屋外共に設置使用できます。
- 自転車や空気ベッド及びタンク容器などへの充填には使用できません。自動車用タイヤに充填するだけに使用してください。
- タイヤチャックは、オープンエンドタイプ以外は使用できません。

（オープンエンドタイプとは、タイヤからタイヤチャックを切り離してもエアが通じるバルブタイプをいう。
参考　反対用語：クローズドエンドタイプ　：　タイヤチャックを切り離すとエアが通じないバルブタイプ）

2. 警告・注意事項

安全にご使用いただく為に

本機を安全にご使用いただく為に、下図の警告マークを付して注意事項を記載しております。
人身事故・物損事故等を起すことのない様に、注意事項を必ず守っていただくようにお願いします。

⚠ 警 告

この取扱説明書では、「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。
警告表示は、安全作業のための重要な事柄です。
人身事故や物的損害防止のための重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してから使用してください。

⚠ **警告**　：取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される場合。

⚠ **注意**　：取扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合、及び物的損害の発生が想定される場合。

NOTE　：作業の効率化及び機器の保全がはかれる場合に記載しております。

3. 使用上の注意事項

下記の警告・注意事項は、大変重要ですので必ず守ってください。

⚠ 警告

- 安定した運用を行うためには、最大３アンペアのサーキットプロテクター配電盤から電源を供給することが必要であり、本体は必ず接地してください。
- 接地をしなかった場合、本製品の故障及び感電・火災などによる傷害の原因となります。

⚠ 注意

- 本機は、自動車用タイヤへのエア充填以外には使用しないでください。
- 本機は、防爆性を有していませんので防爆規制エリアには設置できません。適用される規制に従って設置場所を決定してください。
- 電源の配線工事を行う場合には、電気工事有資格者が行ってください。 障害の原因になります。

⚠ 注 意

- 本機を使用しての充填作業は、サービスマンが行い一般ユーザには行なわせないでください。誤使用による傷害や物的損害の恐れがあります。
  ＊本機をセルフで使用させる場合には、周辺への注意看板表示などについて営業部にご相談ください。
- 初めて電源を投入する時は、タイヤチャックよりエアを一瞬放出します。タイヤチャックを顔などに向けて電源を入れないでください。
- 夜間・休日など長時間使用しないときは、電源及びエア源を止めてください。不意の動作などで物的損害を生じる恐れがあります。
- 本機に供給するエア圧は、1.5MPa 以下の清浄なエアを供給してください。
  清浄なエアが確保できない場合には、エアフィルターをエア供給ラインに設置してください。また、圧力が1.5MPa 以上ある場合にはエアレギュレーターを必ず設置してください。
- 本機を改造することは絶対に行なわないでください。
  改造しますと機能変化を起すだけでなく、傷害事故や物的損害を生じる恐れがあります。

4. 各部の名称

本体 （スタンド形、壁取付形とも本体部は共通です）

液晶ディスプレイ

操作手順記載部

操作キー

NOTE 注記部

ホースフック

スタンド組立

タイヤ充填ホース
7.6m

タイヤチャック

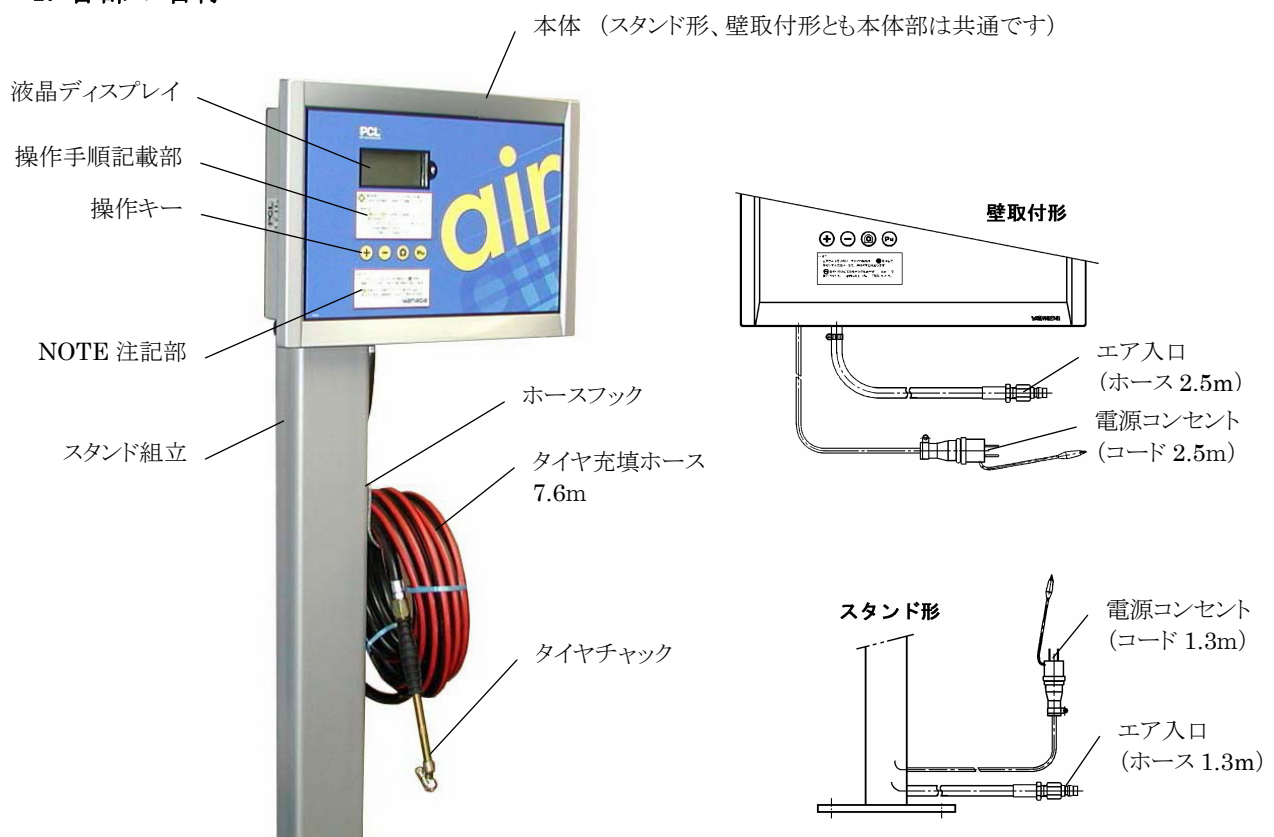
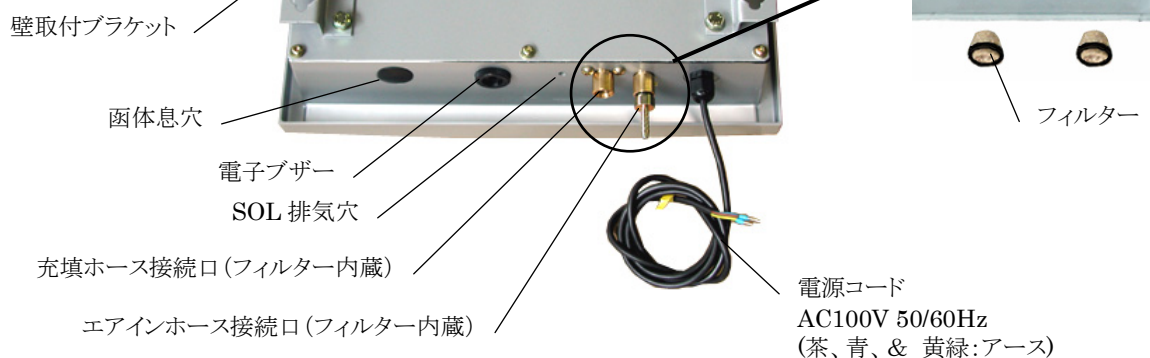
壁取付形

エア入口
（ホース 2.5m）

電源コンセント
（コード 2.5m）

スタンド形

電源コンセント
（コード 1.3m）

エア入口
（ホース 1.3m）

5．　梱包内容品の確認

梱包を開梱し、製品の損傷ならびに付属品の有無を確認してください。

壁取付形　本体 1台、　タイヤチャック付ホース 1本、 ホースフック 1個、 アンカーボルトM8- 4 本
ホースフック用ビットアンカーM6- 2 本、　 取扱説明書（本書） 1

スタンド形　スタンド付本体（ホースフック付） 1台、 タイヤチャック付ホース 1本、 アンカーボルトM12-4本
取扱説明書（本書） 1

6．設 置

⚠ 警告

- 安定した運用を行うためには、最大 3 アンペアのサーキットプロテクター配電盤から電源を供給することが必要であり、本体は必ず接地してください。
- 接地をしなかった場合、本製品の故障及び感電・火災などによる傷害の原因となります。

⚠ 注意

- 本機は、耐防爆性を有していませんので防爆規制エリアには設置できません。適用される規制に従って設置場所を決定してください。
- ジョイントボックスの設置などの電源配線工事を行う場合には、電気工事有資格者が行ってください。

6-1 スタンド形を設置する場合

6-1-1 設置作業

1） エア充填作業範囲を特定してください。（ホース長さ 7.6mで作業可能な範囲）
屋内、屋外は問いませんが、液晶ディスプレイの見易さも考慮してください。

2） 水平な取付け床面に、台座部を壁面から約 300mmの位置に配置し、付属のアンカーで固定してください。
（Fig.1, Fig.2）　　　付属アンカーボルト ：φ12×70mm　4 本

3） 台座足元のエアホースと電気コードを夫々確認し、エア配管と電源配線を計画してください。（次項）

4） タイヤチャック付充填ホースを充填ホース接続口に取付けます。（取付け済みの場合は不要）

［NOTE］　アンカー作業などのゴミが、ホース口金から進入しないように留意してください。

6-1-2 エア源の用意

Fig.1

電線管
（別途品）
エア配管
（別途）
ジョイントボックス
（別途品）
電源コード
外部露出部　約1.3 m
3芯；茶、青、黄緑（アース）
min. 600
充填ホース接続口
タイヤチャック付
充填ホース　7.6 m
（付属品）
１次側エア供給ホース
（外部露出部；1/4×1.3 m）
(PS-20PFカプラー付)
F.L
min. 300

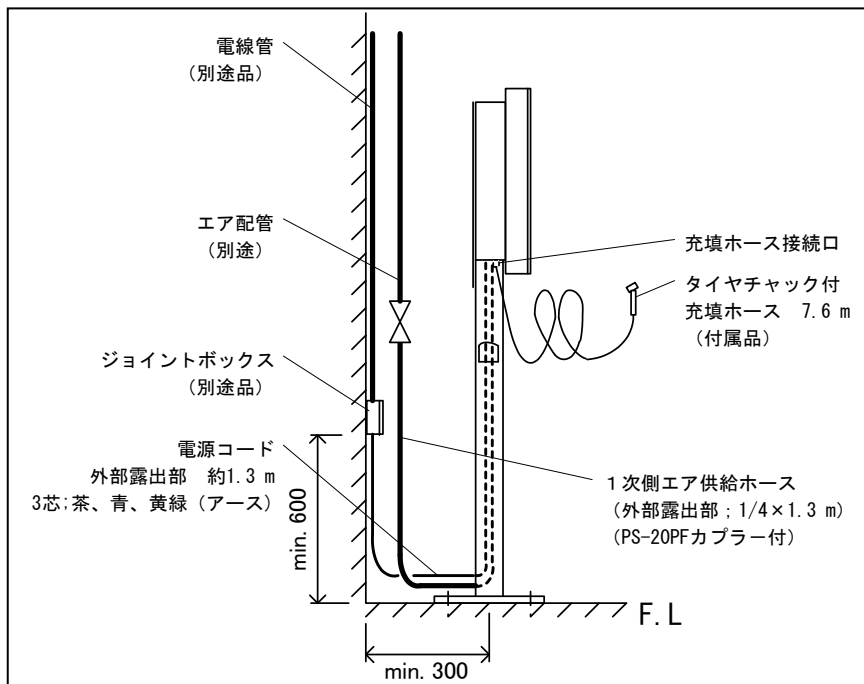
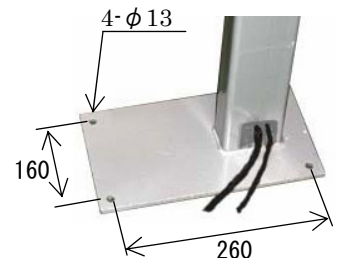



Fig.2

1） 清浄な一次側エア源を本機の付近に用意してください。（Fig-1）

2） 用意した一次側エア源に本機の１次側エア供給ホースを接続してください。
金属製エア配管される場合は、カプラープラグ部分を配管ユニオンに取替えて接続してください。

[NOTE]
- ・ エア配管工事をされた場合には、本機との接続前に充分なフラッシングを行ってください。
- ・ エア源が 1.5MPa 以上ある場合には、エアレギュレーターを新設し 1.5MPa 以下にして本機に供給してください。
- ・ドレンのない清浄なエアが確保できない場合には、エアフィルターをエアラインに設置してください。

6-1-3 電源の用意

1） スタンド付近の壁面に AC100V のコンセントボックス、又はジョイントボックスを準備してください。(Fig.1)

2） スタンド台座足元からの電源コードを、このジョイントボックスに接続します。

AC100V　50/60Hz　　茶、青＆黄緑(アース)

6.2 壁取付形を設置する場合

6-2-1 設置作業

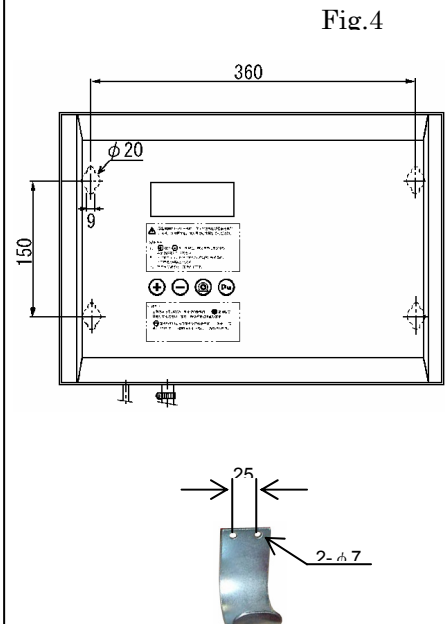
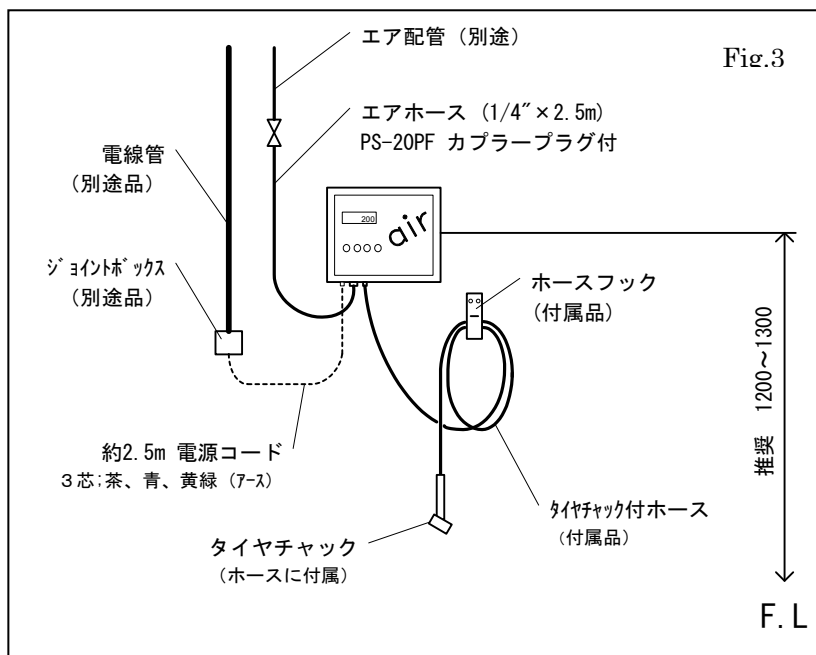
1） インフレーター本体及びホースフックを壁面に配置し、付属のアンカーボルトで固定してください。
アンカーボルト配置寸法:横 360×縦 150 (Fig. 3, Fig.4)
付属のアンカーボルトが使用できない壁面には、最適な止め具を別途用意してください。

付属アンカーボルト:本体用(φ8×50mm)　　4本

ホースフック用(φ6×45mm)　　2 本

参考 : デジタルエアインフレーターの質量 : 約 6.73 kg (ホース除く)

2） タイヤチャック付充填ホースを充填ホース接続口に取付けます。 この時、Oリングがホース金具の口元にあることを確認し、シールテープを巻かずに取付けてください。

[NOTE]
- ・ 壁面に取付けできない場合には、スタンド形のデジタルエアインフレーターを選択してください。
- ・ FL からの設置高さによっては液晶が見にくいことがあります。 あらかじめ設置場所の反射などを確認の上、設置高さや場所を決定してください。

6-2-2 エア源の用意

1） 一次側エア源を本機の付近に用意してください。(Fig.3)

2） 用意した一次側エア源に本機の 1 次側エア供給ホースを接続してください。

[NOTE]
- ・ エア配管工事をされた場合には、ホース接続前に充分なフラッシングを行ってください。
- ・ エア源が 1.5MPa 以上ある場合には、エアレギュレーターを新設し 1.5MPa 以下にして本機に供給してください。
- ・ドレンのない清浄なエアが確保できない場合には、エアフィルターをエアラインに設置してください。

6-2-3 電源の用意

1）本機の付近に AC100V のコンセントボックス又はジョイントボックスを準備してください。(Fig.3)

2）標準付属の電源コード長さは、インフレーター本体より約 2.5mです。 このコードの届く範囲を考慮してジョイントボックスを配置してください。

7. 操作方法

7-1 運転準備

1) 本機に供給しているエアバルブを“開”いて、エアを供給してください。

[NOTE]

・充填しようとしている充填圧に対して、プラス 100kPa の供給圧を保証してください。たとえば 200kPa のセット値には 300kPa 以上の元圧が必要となります。

・エアは、電源より必ず先に入れてください。

2) 電源を供給すると内部ソフトウェアによって数秒間数値（P3.4 など）が表示されます。

3) そのまま放置しておくと、セット値に戻る前に、一瞬エアを放出します。この放出で準備完了です。
セット値には 200kPa を自動表示している筈です。

⚠ 注意

- 本機は、自動車用タイヤへのエア充填以外には使用しないでください。
- 本機を使用しての充填作業は、サービスマンが行い一般のユーザには行わせないでください。誤使用による障害や物的損害の恐れがあります。
  ＊本機をセルフで使用させる場合には、周辺への注意看板表示などについて営業部にご相談ください。
- 初めて電源を投入する時は、タイヤチャックより必ずエアを一瞬放出します。顔などにタイヤチャックを向けて電源を入れないでください。

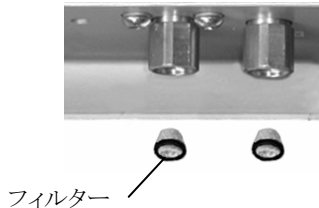
4) 準備エア放出を邪魔しないために、ホースのタイヤチャックはタイヤと接続しないでください。
さもなければエラーE-5 を表示します。（タイヤチャックを外せばリセットされます）

7-2 充填操作

以下の手順にしたがって充填操作を行ってください。

手順	空気圧不足のタイヤに充填する時	“空” のタイヤにゼロから充填する時
1	＋／－ ボタンを操作して充填したい値に変更してください。（5kPa 刻み）	
2	タイヤチャックをタイヤに接続してください。	
3	タイヤの内圧を感知し、自動的に充填を開始します。（間欠音）	内圧がないので自動スタートしません。 ”Flat tire”キーを押すと充填開始します。（間欠音） ・インフレーターは、長めの充気を数回行い、30kPa 以上になってから自動充填を開始します。 ・もう一度 ”Flat tire”キーを押すと充填を停止します。
4	セット値に達したとき、連続音に替わり充填終了を知らせます。	
5	タイヤチャックをタイヤから取外してください。	

⚠ 注意

- タイヤチャックをタイヤに接続したままにしておくと、常に充填をし続ける状態となり、必要以上に加圧する危険性があります。充填が完了したら速やかにタイヤチャックをタイヤから外してください。
- 充填終了直後は、タイヤ内のエア圧が不安定なため、最大で 10kPa エア圧が下がる場合があります。
  その場合、1分程時間をおいて再充填することにより、正確な充填を行うことができます。

8. 保守・点検

8-1 故障原因と対策

エラーメッセージ	原 因	対 策
E-1 と表示された	・システムの最低作動エア圧力がない、又は不安定。	・コンプレッサ又は元圧をチェック ・リークをチェック
E-2 と表示された	・内蔵のトランスデューサの故障。	・修理を依頼してください。
E-3（不使用）		
E-4 と表示された	・圧力上昇率が大きい。 - ホースが詰まったか、タイヤチャックが詰まった。 - クローズエンド形のタイヤチャックに交換した為排気できないなど。	・ホースの折れや詰まりを解消する。 ・オープンエンド形のタイヤチャックに交換してください。
E-5 と表示された	・ゼロ調整値が大きすぎる。 ・定期的なゼロリセットが出来ない。 ・タイヤ残圧をチェック出来なかった。	・センサー故障、ホース破損。 ・タイヤチャックを外して再スタートさせるとクリアできます。
E-6 と表示された	・ゼロ調整の設定最大値を越えている。	・修理を依頼してください。
E-7（不使用）		
E-8 と表示された	・センサー入力がレンジ以下である。	・修理を依頼してください。
E-9 と表示された	・センサー入力がレンジ以上である。	・修理を依頼してください。
E-10 と表示された	・電源電圧が低い（70V 以下である）	・電源をチェックしてください。
E-11 と表示された	・電源電圧が高い（120V 以上である）	・電源をチェックしてください。
E-12 と表示された	・EEPROM 電源 ON 確認の失敗。	・修理を依頼してください。
E-13 と表示された	・起動時キャリブレーションの失敗。	・機差調整をやり直す。
E-16 と表示された	・タイヤチャックに圧力がかかった状態　で起動。	・タイヤチャックを外し再起動してください。

目視状況	原 因	対 策
何も表示をしない。	・電源が来ていない。	・AC100V 電源のチェック。 ・断線のチェック。
充填に時間がかかるようになった。	・スタンドポスト内部のホースのつぶれや折れ。 ・ホース接続口フィルターの詰まり。 ・電磁弁ポートに異物が詰まった。 ・ホース接続部、タイヤチャック部のパッキン部の詰まり。	・折れを修正。 ・分解し清掃。 ・電磁弁を分解し、ポートを塞いでいる異物を除去する。 ・パッキン清掃、又は交換。
電磁弁のカチッ音が弱くなった。	・コイルが変形。	・電磁弁交換。
排気の放出が遅くなった。	・排気電磁弁のフィルターが詰まった。 ・ホースの折れ。 ・排気電磁弁のポートの詰まり。	・分解清掃。又はフィルタ交換。 ・折れを修理。 ・電磁弁の分解、清掃。

8-2 定期保守

項 目	サイクル	方法	備 考
ホースとタイヤチャックのチェック。	毎週	ホースヒビ割れ、チャックの食いつき加減、パッキン、交換の要否判定。	
フィルターのチェック。（エア入口と出口接続部）	1年毎	フィルターの汚れ、詰まり、清掃、交換の要否判定。	エア入口側及びエア出口側ホースを取り外す。双方の接続部からフィルターを取出し、洗浄または交換する。 フィルター フィルターを外したまま稼動しないでください。ゴミの進入によって電磁弁等の故障原因になります。

[NOTE]

・本体内の圧力トランスデューサと電子制御ボードのメンテナンス要素はありません。
　もし、これらが故障ならばメーカ交換が必要です。営業までご相談ください。

・表面パネルは、中性洗剤を使用して清掃してください。
　ポリカーボネート製の窓に溶剤を使用しないでください、変色して表示が見えなくなります。

9. 仕様

9-1 テクニカルデータ

設置形態	スタンド式	壁取付式
型　　式	DAT-810	DAT-811
製品番号	881019	881020
電源電圧	AC100V±10%　50/60Hz	
消費電力	約 18VA	
最高供給空気圧	1.5 MPa　(1.6 MPa)　(1)	
充填圧力範囲	30 ～ 999 kPa	
最小設定目盛	5 kPa	
精　　度	±5 kPa　(2)	
温度範囲	－20 ～ 70℃　(3)	
保護構造	IP53　(4)	
ホース長さ	1/4 ×7.6 m　タイヤチャック付	
供給エア接続口	エアカプラープラグ付 (PS-20PF)	エアカプラープラグ付 (PS-20PF)
取付け姿勢	垂直取付けのみ	30° 以内
外　観　寸　法 (mm)	次頁参照	
質 量 (付属品除く)	18.0 kg	6.73 kg
付属品	アンカーボルト　4 本 ホース(タイヤチャック付)　1本 ホースフック(本体に含む)	アンカーボルト　4 本 フック用アンカーボルト　2本 ホース(タイヤチャック付)　1本 ホースフック　1 個

(1) エアカップラーを交換すれば 1.6 MPa まで使用可能です。
(2) 再充填を行った場合。
タイヤからタイヤチャックを外した際のエア放出は考慮しておりません。
(3) 0℃以下の低温時には、液晶機能限界を超えるため見にくくなることがあります。
(4) 動作阻害要因となる塵埃と、散水に対する保護を確保している保護特性記号。

参考充填時間

	テストタイヤサイズ	充填前 → セット値 (kPa)	所要時間 (sec)
充填能力 (実測値)	155SR13	100 → 200	12　(1)
	165R13	100 → 200	16
	195/452R16	100 → 220	22
	215/452R17	100 → 240	18

(1) 参考; 空状態から 200 kPa まで充填する場合の所要時間は 18 sec

9-2 外観寸法

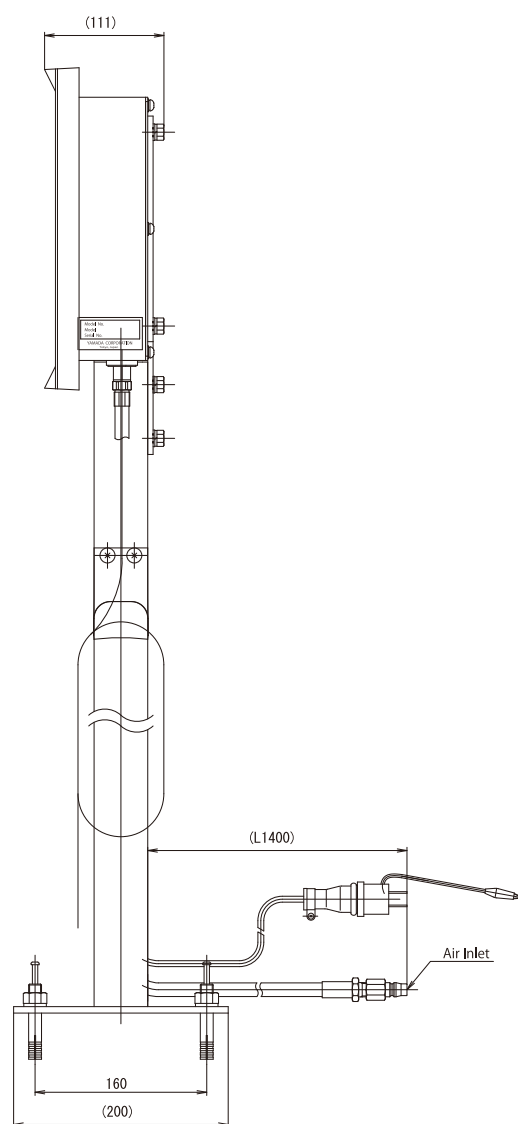
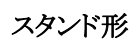
壁取付形

スタンド形

(420)
(111)
(300)
(1446)

圧力単位換算表	
kgf/cm²	kPa
1.4	140
1.5	150
1.6	155
1.7	165
1.8	175
1.9	185
2.0	195
2.1	205
2.2	215
2.3	225
2.4	235
2.5	245
2.6	255
2.9	285
3.2	315
3.5	345

この表は1 kgf/cm² = 98 kPa として換算しています。
圧力設定時に目安として参照してください。

(963)
4- ⌀13
アンカーボルト　M12×70
Air Outlet
260
(300)
(440)
(L1400)
Air Inlet
160
(200)

10. 製品保証登録 ＦＡＸシート

お手数ですが、このＦＡＸシートをコピーして必要事項をご記入の上、弊社宛てにご送信ください。
（フリガナも必ずご記入ください）

製品保証登録 FAXシート

フリガナ 貴社名 ______	フリガナ ご担当者名 ______
フリガナ ご住所 ______ ______	ご所属 ______
	ご連絡先 Tel. （　　）____－____ Fax. （　　）____－____

■貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。

1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. バルブ

25.その他（詳しくご記入下さい ______ ）

■本機をお知りになったきっかけを○で囲んでください。

新聞	1. 日刊工業新聞	2. 日本工業新聞		3. 日経産業新聞
	4. 日刊自動車新聞	5. 燃料油脂新聞		6. その他の新聞
雑誌	7. IEN	8. 化学装置	9. IPG	10. その他の雑誌
	11. 販売員に薦められて	12. 展示会		13. カタログで

ご購入年月日	______ 年 ____ 月 ____ 日	ご購入目的 ______
ご購入販売店		ご使用条件 ______ ______
製品名（型式）	□ スタンド式（DAT−810） □ 壁取付式（DAT−811） □（　　　　　　）	
製品番号		
SERIAL.No.		

宛先

株式会社 ヤマダコーポレーション

営業本部　製品保証登録係
TEL. 03－3777－4101
FAX. 03－3777－3328

11．保証規定

本機は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず、保証期間内に万一弊社の責任に基づく故障が起こりました場合には、納入日より１２か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。
ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間： 製品を納入申し上げた日より起算して１２か月間といたします。

2.保証内容： 期間中に、本機を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外： 期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

(1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
(2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
(3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な液剤を使用されて生じた故障。
(4) 弊社、又は弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
(5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
(6) パッキン、O‐リング、ボール、バルブシートなどの消耗品の摩耗。
(7) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
(8) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
(9) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用した場合に発生した故障。
(10) 過度に摩耗性を有する材料や、本機に不適当な油脂を使用された場合の故障。
(11) 日本国外においてご使用の場合。
(12) アース線を設置しないことによる本機の故障

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類　・各種パッキン類

4.補修部品： 補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後５年とさせていただきます。
製造打ち切り後５年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

（控）

型　　式	
製　造　番　号	

ご 購 入 年 月 日	
ご 購 入 の 販 売 店	

安全に関するご注意 ／ ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、性能・寸法など改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお願い致します。

株式会社 ヤマダコーポレーション

本社・営業部	〒143-8504	東京都大田区南馬込１丁目１番３号	TEL(03)3777-4101(代)	FAX (03)3777-3328
札幌営業所	〒062-0002	札幌市豊平区美園二条６丁目３番16号	TEL(011)821-0630(代)	FAX(011)821-0949
仙台営業所	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町２丁目２番44号	TEL(022)232-4743(代)	FAX(022)232-4756
東京営業所	〒143-0025	東京都大田区南馬込１丁目１番３号	TEL(03)3777-3171(代)	FAX(03)3777-6770
名古屋営業所	〒463-0052	名古屋市守山区小幡宮ノ腰７番38号	TEL(052)795-0222(代)	FAX (052)795-0444
大阪営業所	〒537-0025	大阪市東成区中道３丁目15番２号	TEL(06)6971-5301(代)	FAX(06)6974-0497
広島営業所	〒733-0833	広島市西区商工センター5丁目３番５号	TEL(082)278-5341(代)	FAX(082)278-5310
福岡営業所	〒812-0888	福岡市博多区板付５丁目18番14号	TEL(092)581-5477(代)	FAX(092)581-6524
相模原工場	〒229-1112	神奈川県相模原市宮下１丁目２番38号		

YAMADA AMERICA Inc.　1200 Nuclear Drive West Chicago, Illinois 60185, U.S.A　Tel 1-630-231-4083
YAMADA EUROPE B.V.　Aquamarijnstraat 50-7554 NS Hengelo-The Netherlands　Tel 31-0-74-242-2032
雅玛达(上海)泵业贸易有限公司　上海市浦東新区張江高科技園区松濤路647弄9-11号 3号棟1室　Tel 86-21-3895-36

200908 AUT 028U